

2007年7月13日

PPVのオプション化について

BS技術専門委員会委員長
関 祥行

BS/広帯域CSデジタル放送受信機のPPV機能については、BS/広帯域CSデジタル放送運用規定ARIB TR-B15の上では必須技術要件としての規定を継続し、受信機上では機能搭載を義務づけ、合わせてテスト環境を維持して来ました。

しかしこの度、諸般の事情からBS技術専門委員会において、BS/広帯域CSデジタル放送におけるPPVサービスを、「必須」から「オプション」とすることを決定しました。

この結果、本年9月のARIB規格会議で、TR-B15の改定を行うべく作業に入りました。規格が変更されるのは先になりますが、7月31日をもちましてPPVの受信機テストは中止いたします。また、PPVサービスは、今後実施されないことからTR-B15から関係記述を削除するのが本来の対応と考えており、9月以降その作業に入る予定です。

一方、BS/広帯域CSデジタル放送事業者においてはデータ放送双方向サービス等でモデムの利用は現在も継続していますので、モデムについては当面受信機必須機能として残し、テスト環境を今後も維持することとします。

* PPVとは「Pay Per View」の略で、番組単位で料金を課金するシステムです。具体的には、視聴情報がチューナーに蓄積され、一定期間ごとに電話回線を通して当該放送業者に送られ、その情報を元に加入者へ料金を請求するという仕組みです。

追記 2008年6月6日

運用規定への反映について

上記TR-B15におけるオプション化は4.1版において、記述の削除は4.4版において改定されております。

追記 2010年3月30日

モデム導通試験環境について

上記モデム導通試験環境は、電話モデムのオプション化（ARIB TR-B15 4.8版より実施）に伴い、諸般の事情によりその提供が2010年3月末で終了となりました。